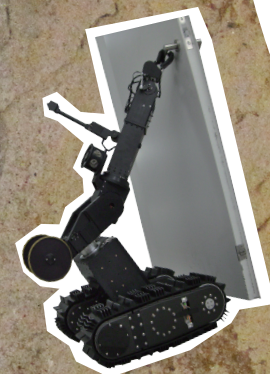
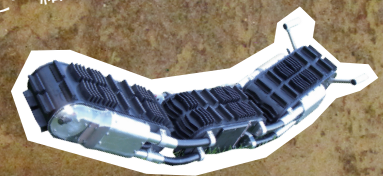


小学生向けロボット教室  
 「人に役立つ新しいロボット作ろう」  
 中学生も参加できます。保護者の方も一緒にどうぞ。

# 科学好き集まれ!



参加費無料

1月29日 (土曜日)  
 10:00 ~ 12:00  
 (地震ザブトン展示 10:00 ~ 11:30)  
 ※途中入場はできません。

東京工業大学 大岡山キャンパス  
 東工大蔵前会館 TTF くらまえホール

主催：東京工業大学 大学院理工学研究科  
 機械宇宙システム専攻 広瀬 福島研究室  
 東京工業大学 学生支援 GP

後援：学生支援センター

ヘビは足が無いのになぜ前に進めるか知っていますか。体のうろこを立てて動いているという人がいますが、本当はうなぎが水中を泳ぐのと同じように地上を泳いでいるんです。私は学生時代に実際のヘビをヘビ料理屋で買っていろいろな実験をしました。そしてたくさんのヘビ型ロボットをこれまで作ってきました。ヘビ型ロボットは、たとえば地震のときにつぶれた家の中に入って行って人を探し出すとか、柔らかくものを掴んだりできます。この講義では、水の中でも泳げるなどのいろいろなタイプのヘビ型ロボットの話をしてします。

また、歩くロボットの話もします。歩くロボットは、岩だらけの山道を動き回って植林したり土木作業をしたりできます。このような目的で開発している4足歩行ロボットや、車輪やクローラ(キャタピラ)と組み合わせた歩行ロボットを紹介します。動くごぶとんのようなロボットや、川や海の底でおぼれた人を探るロボットなど、思いもよらない形のロボットもお見せします。日本では、2020年に月にロボットを送って基地を作り、月の上を動き回っているいろいろな岩石を集めて地球に持ち帰ることを計画しています。こんな作業をするためのロボットも紹介します。皆さんが大きくなったときに、ここで見たロボットが実際に月に動き回っているかもしれませんね。

このロボット教室では、このようにいろいろのロボットを実物や映像で紹介すると同時に、参加した皆さんに実際にロボットに試乗したり、操縦したりする体験もしてもらいます。阪神淡路大震災を実際に体験できる地震ザブトンというロボットに乗れます。またヘビと同じようにすすい動き回るロボットや、人間の様に2本足でびんびん走るロボットを操縦することもできます。楽しくロボットのことが学べるので是非来てください。

機械宇宙システム専攻  
 教授 広瀬茂男

